

オキサジクロメホン・クロメプロップ・ダイムロン・プロモブチド・ベンスルフロンメチル粒剤 ゴウワンD L ジャンボ	取扱メーカー： 北興* 原体メーカー： 全農、バイエル、エス・ディー・エス、住友化学、クミカ
成分： オキサジクロメホン〔オキサジノン系〕……………0.86% クロメプロップ〔フェノキシ系〕……………4.3% ダイムロン〔尿素系〕……………6.4% プロモブチド〔酸アミド系〕……………8.6% ベンスルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕……………0.73% その他 PRTR 該当成分： ドデシル硫酸ナトリウム〔PRTR・1種〕……………1.2%	性状： 類白色細粒，水溶性パック入り 1パック70 g 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- ノビエに対し高い効果を示すとともに，後次発生を長期間抑える。
- 一年生及び多年生の広葉雑草に高い効果を示す。
- スルホニルウレア系除草剤が効きにくくなったアゼナ類，コナギ，ホタルイに卓効を示す。
- 葉害軽減作用のあるダイムロンを配合した。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

- ノビエの2葉期までに散布する。
- 吸湿性があるので湿気には十分注意し，使い残りは外袋の口を強く閉じて保管する。また，強く加圧されると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにする。
- 共通注意事項の5，水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわいなど）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 散布後に低温傾向が続くと予想される時には，効果が劣ることがある。
- 共通注意事項の5，水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は，誤食したり眼に入らないよう注意。

【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ2葉期 但し，移植後 30日まで	小包装 (パック) 10個 (700 g)	水田に小包装 (パック)のま ま投げ入れる。	1回 ※

- ※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※クロメプロップを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※ダイムロンを含む農薬の総使用回数：3回以内（育苗箱散布は1回以内，本田では2回以内）
 ※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内